

## <2017年度理事会議事録>

日時：2017年4月23日（日）

11:00～12:15

場所：早稲田大学大隈会館N棟201～202号室

出席者：桑山龍男（6）、山本剛生（10）、櫻井昭一（11）、小谷部誠（12）、舟木健（13）、塚崎義樹（14）、深谷 豪（15）、伊東勝英（16）、山本隆夫（17）、岡田浩司（18）、萩原英次（22）、市川泰夫（23）、菊地正矩（23）、赤津隆昭（26）、神保淳一（29）、佐藤佳一（32）、石川知行（38）、佐伯秀彰（39）、永目哲（41）、沢木拓也（45）、森誠一郎（45）、渡辺幸倫（46）、鈴木裕介（47）、藤田啓輔（66）  
監事 吉越昌治（20）・・・出席者 25 名

出席理事 22 名（出席者 25 名のうち）・議長等委任状提出者 23 名…表決参加者計 45 名

### <開会宣言及び議長選出>

石川専任理事（38）より理事会の開会宣言がなされ、佐藤佳一会長（32）に議長をお願いしたい旨の提案がなされ、全員異議なく了承された。

### <議長挨拶、書記指名>

議長は理事各位の会運営の協力を示した後、前期執行部の路線は継承しつつ、新執行部の活動を行った旨説明。現役部支援の一環として、現役部部員会への積極的な参画を通じて相互理解を深めることや就職活動を行う現役への支援を目的として就活支援委員会を立ち上げたこと、催事活動の一層の活性化を図り、地域別懇親会では、震災復興支援の観点から熊本にて地域別懇親会を実施したこと等説明。また、本日の理事会では例年同様、事業報告・決算、事業計画・予算についての審議をよろしくお願いしたい旨挨拶。その後、事務局神保常任理事を書記に指名する旨の提案がなされ、了承された。

### <理事会の表決及び議案の訂正>

議長の指名により事務局の神保常任理事は理事会の表決について次のように説明。

理事会の議案は会則 36 条により、表決者の過半数の賛成で議案が承認されること、現時点で表決参加者は 45 名であることから、その過半数をもって議案が承認されることを説明した。

本日の議決権行使率は 70%（表決参加者 45 名/総理事数 64 名）である旨説明するとともに、理事会の直前に議案書の訂正があったことについてお詫び。

（なお事後確認ながら、理事会開催前に理事 1 名から、議長一任の旨連絡があり、最終議決権行使率は 72%（表決参加者 46 名/総理事数 64 名）となった）

### <書記の指名>

続いて会則 35 条により議長は神保淳一氏（29）を書記に指名した。

### <物故者黙禱>

議長から議案審議に先立ち、この一年間に亡くなられた会員の報告がなされた。

以下3名のご冥福を祈り全員起立し黙禱を捧げた。

平成28年7月4日 9代 多胡善彦氏

平成28年7月5日 顧問 関正巳氏

平成28年8月16日 7代久地楽雄二郎氏

### <議案審議>

#### 議案1. 2016年度事業報告案

石川専任理事は議案書に基づき、主な催事及び重点実施項目について項目毎に補足を加えながら説明。特筆すべき催事として、59名が参加した初代～20代世代別懇親会、3つのイベントを同時開催した現役交流駅伝・41代～66代世代別懇親会・50代長友さん壮行会、熊本復興支援地域別懇親会を行った旨説明。また、沢木監督体制への全面的な支援を図るべく、部員会への積極的な関与、就活支援活動等を行ったこと、実技講師のご退任に伴い渡辺常任理事（46）が就任したこと、早稲田アリーナ募金実施等について、詳細に説明。

質問はなく、採決の結果、議案1. は賛成多数で原案の通り承認された。

#### 議案2. 2016年度決算案

鈴木常任理事は議案書に基づき、当初予算との差異等を中心に説明を行った。

- (1) 一般会計の収支について予算比大きな差異のある項目について説明を行った。収入面では費収入が当初予算比65千円の収入増となった。会費納入対象者の納入率は87%とほぼ前年度並みを維持した。支出面では、会報リニューアルによる支出増、新体制発足に伴う会議費の支出増について説明。
- (2) 山小屋資金会計は山小屋管理者への謝礼を一般会計からの繰入資金で支払った。
- (3) 遭難対策資金会計は受取利息増のみの変動であった。
- (4) ワンゲル基金では支出面で部卒業者の借入返済に伴う免除金50千円を計上した。

吉越監事より、4/3に監事監査を行った結果、適正に処理されていることを確認した旨説明。

質問はなく、採決の結果、議案2. は賛成多数で原案の通り承認された。

#### 議案3. 2016年度役員案

市川副会長は執行部及び実技講師、新理事、特別委員会新任、稲門体育会代表委員等変更点について説明を行った。新任理事を紹介するとともに、萩原副会長、渡辺常任理事実技講師、森山小屋委員会委員長、永目就活支援委員会委員長からご挨拶をいただいた。

- (1) 執行部の変更…副会長に萩原OB（22）に加入していただき、副会長2名体制とすること。
- (2) 実技講師交代…28代倉品理事 →46代渡辺常任理事。
- (3) 新理事紹介…12代小谷部理事、13代舟木理事、23代菊地理事、39代佐伯理事、50代浅井理事、67代中嶋理事

(4) 特別委員会新任…山小屋委員会委員長：45代森OB、就活支援委員会委員長：41代永目常任理事、就活支援委員会委員：46代渡辺常任理事、47代鈴木常任理事、62代大門常任理事がそれぞれ新たに就任。

(5) 稲門体育会代表委員…代表委員：18代寺光OB、代表委員補佐：38代松延OB  
質問はなく、採決の結果、議案3. は賛成多数で原案のとおり承認された。

#### 議案4. 2017年度活動方針および事業計画案

萩原副会長は、2017年度活動方針及び事業計画案について説明を行った。

- (1) 年8回程程度の催事開催(21代～40代世代別懇親会兼故関先生との思い出を語る会、若い世代向けのファミリー参加型イベント、来年3月にご退官される田島先生(現役部部長)感謝の会等)。
- (2) 現役部との交流・支援の推進
- (3) ワンゲル実技について、渡辺新実技講師のサポート
- (4) 早稲田アリーナ募金目標の達成(目標300万円、4/17現在募金実績218.3万円)
- (5) 広報活動のさらなる充実化
- (6) 財政の安定化と次年度繰越金に関する検討の実施

質問はなく、採決の結果、議案4. は賛成多数で原案のとおり承認された。

#### 議案5. 2017年度予算案

鈴木会計担当常任理事は、議案書に基づき前期比で変動のある項目について説明。

- (1) 一般会計年会費収入については、2016年度実績並みの収入を計画。
- (2) 一般会計支出については、催事活動費を50千円→100千円に増額。
- (3) 山小屋資金会計、遭難対策資金会計、ワンゲル基金会計については、例年通り。

#### <質疑>

塚崎理事(14)より、「各資金会計の対象期間が、2016年4月～2017年3月と記載されているが、正しくは、2017年4月～2018年3月である」旨訂正してほしい、とのご意見あり。

そのほか質問はなく、採決の結果、議案5. は賛成多数で原案のとおり承認された。

#### 報告1. 早稲田アリーナ募金

石川専任理事は、早稲田アリーナ募金に関して、募金状況ならびに多くの会員に協力していただけるよう声掛けをしてほしい旨説明。

#### <質疑>

深谷理事(15代)より、「各代毎の募金状況の説明資料の中で、15代同期の会員数を訂正してほしい(9名→8名)」旨申し入れあり。20代についても、2名→1名とするようご指摘をいただいた。  
佐伯理事(39代)より、「同期に対して、募金のPRをしたいが、どうすればよいか?」旨質問あり。  
→佐藤会長より、「同期の方々へ、ぜひ声掛けをお願いしたい」旨回答。

石川専任理事より、「会報にも、募金のお願いの記事を掲載しているので、石川専任理事または神保事務局長あて問い合わせをしてほしい」旨回答。

#### <現役活動報告>

沢木拓也（45）監督より現役活動状況について説明あり。

（1）新人勧誘状況については、6名（男子のみ）の入部あり、4年：8名、3年：6名、2年：7名、と合わせて、全体で27名となった。

（2）コーチは、51代中島、57代廣光、61代磯部（旧姓沼田）、64代内山の体制で臨む。

（3）夏合宿は、北海道にて3隊（沢、ポート、自転車）で活動を行う。

#### <質疑>

櫻井理事（11代）より、「積雪期活動に際して、雪崩対策として、ビーコンは持参しているのか？」との質問あり。

→沢木監督より、「全員持参している」旨回答。

#### <閉会宣言>

佐藤議長は全ての議案の審議が滞りなく終了した事、議事進行についての協力に感謝の意を述べ、2019年の70周年に向けて、体制づくりの準備等、各位のご協力をお願いしたい旨申し入れ。

5月21日の会員総会への出席要請・ご協力依頼を行ったうえで、本理事会の閉会を宣言した。

以上

書記 神保淳一（29）